

2025年1月31日

各位

MCP キャピタル株式会社

新規投資におけるサステナブルファイナンスの導入

2024年6月26日にお知らせしたMCP キャピタル株式会社（以下、「弊社」）が業務受託するMCP6 投資事業有限責任組合（以下、「弊社ファンド」）と株式会社プロパックホールディングス（以下「プロパック HD」）の資本業務提携に際して導入した銀行借入につきまして、第三者評価の取得を含むサステナブルファイナンス化の手続きが完了したことをお知らせいたします。

同借入は株式会社三菱 UFJ 銀行をアレンジャーとして組成された、プロパック HD の株式取得を主な資金使途とする M&A ファイナンスです。今般、株式会社日本格付研究所（以下「JCR」）より、「サステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）原則」¹及び「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」²への適合に関する第三者意見を取得しました。

SLL は、借り手のサステナビリティ戦略に沿った KPI と連携した野心的な目標水準であるサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPTs）を設定し、SPTs の達成状況に応じて金利等の条件が変動する仕組みのローンです。プロパック HD の中核会社である株式会社フジダン（以下、「フジダン」）は、設立以来 70 年超に渡り一貫して段ボールシート及び段ボールケース等の製造販売を行っており、国内でも成長率が高い関東市場において、高品質・短納期・中小ロットへの対応力等を強みとして確固たる顧客基盤を築いております。段ボールの原料である段ボール原紙は、古紙利用率が 90%以上である等リサイクル率が高く、環境保護と資源循環の観点から重要な役割を果たしておりますが、今回の SLL では工場における CO2 排出量原単位（生産量 100 万㎡あたり）について SPTs を設定しました。本設定に伴って更なる生産効率の改善活動へのインセンティブを強め、それを通じたコスト削減や生産キャパシティの増加が可能となり、企業価値向上の一助となることに加えて、持続可能な社会の実現に向けて、環境負荷の低減を通じた企業としての社会的責任を果たすことに繋がることから本 SPTs を設定しました。

MCP キャピタルは、日本企業の持続的な成長を支援することを理念としており、投資先企業の持続的な成長支援においては ESG（環境・社会・ガバナンス）の要素、サステナビリティ課題を考慮することは必然的な社会的要請であり、投資活動上も投資先企業のリスクの低減及び収益機会の双方の観点から重要な要素であると認識しています。本件はその一環であり、今後もステークホルダーの長期的利益の最大化、投資先企業の社会的価値の追求を目指して参ります。

<本件に関するお問い合わせ>

MCP キャピタル株式会社（担当：西脇・佐々木・矢野）

電話：03-3284-1632

URL：<https://mcp-capital.co.jp/>

以上

¹ Asia Pacific Loan Market Association (APLMA), Loan Market Association (LMA), Loan Syndications and Trading Association (LSTA). "Sustainability-Linked Loan Principles 2023"
(<https://www.lsta.org/content/sustainability-linked-loan-principles-sllp/>)

² 環境省 サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2024 年版 (<https://www.env.go.jp/content/000062348.pdf>)